



写真 1.

には遮蔽物がない開けた場所に静止していた。道路は車の通行も人通りも極めて少ない。本種の静止していた塀の面は当日日陰だった。当時の天候は晴れ、当日は前々日の大雨で気温がやや低かったと野帳に記述している。

本種を撮影した地域は、城山（鷹尾山）南麓に位置し、現在は住宅街が広がっている。かつて当地域周辺を含む一帯は、芦屋川の流下水を利用した水車群が江戸から昭和初期まで存在していた（芦屋市教育委員会，2007）。そして需要に応じ絞油（菜種油絞り）、精米（酒米）、製粉（素麺原料）をおこなっていたが、大正時代以降モーター動力の普及で衰退し、昭和初期、精道村（芦屋市の前身）による芦屋川上流から導水する水道事業の過程で、昭和6年（1931年）に水車稼働の水利権が解消され多くが廃業した。当地域どのような経過をたどって現在の土地利用に至ったかについては不明であるが、大規模な土地改変を伴う宅地開発は行われず現在に至っていると推定される。

芦屋市山芦屋町, 16. VII. 2020 (写真 1)

○引用文献

- 芦屋市教育委員会, 2007. 芦屋川水車場跡地発掘調査報告書—城山古墳群第120号墳と芦屋川水車場跡地の発掘調査成果. 芦屋市文化財調査報告, 71.
- 兵庫県, 2017. 兵庫県版レッドリスト 2017 (哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類). <https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/application/files/7015/0581/4456/9a76965632b8fac42519cbcbcbf79eb2.pdf> (最終閲覧: 2025 年 1 月)
- 八木沼健夫, 1960. 原色日本蜘蛛類大図鑑. 保育社, 大阪. 186pp.

(Takahiro NISHI 兵庫県芦屋市)

養父市でコガタノゲンゴロウを初記録

泉山真寛

2024 年 12 月に兵庫県養父市でコガタノゲンゴロウ *Cybister tripunctatus lateralis* が初めて確認されたので報告する。なお、希少な昆虫につき、調査地の詳細は明らかにしないことをお断りしておく。12 月 21 日及び 25 日に調査を実施し、計 2 個体が採集された。



養父市産コガタノゲンゴロウ。

本種は全国的にも個体数が減少し、環境省のレッドデータカテゴリでは、絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。また、兵庫県内では、絶滅危惧Ⅰ類 (A ランク) に指定されている（兵庫県版レッドリスト 2022 (昆虫類)）。近年では、一度は兵庫県但馬地域では絶滅したと考えられていたが、雌成虫 1 個体が兵庫県豊岡市の溜池で発見された（杉浦, 2021）。また、2024 年には、兵庫県美方郡新温泉町にて、初めて本種の生息が確認された（泉山, 2024）。

今回発見された場所は、これまで筆者が定期的に水生生物の調査を実施している水域である。2024 年 10 月 12 日および 11 月 10 日に調査を実施していたが、その際は発見されなかった。コガタノゲンゴロウは飛翔性向が強く、分散距離も数 km と推定されており（國本, 2005；國本, 2006）、近隣の個体が飛翔してきた可能性がある。

○引用文献

- 泉山真寛, 2024. 美方郡新温泉町でコガタノゲンゴロウを初記録. きべりはむし, 47 (2): 69.
- 國本洗紀, 2005. コガタノゲンゴロウの生態 (その 1)-越冬場所と繁殖地-. ゆらぎあ, 23: 1-7.
- 國本洗紀, 2006. コガタノゲンゴロウの生態 (その 2)-繁殖地と越冬地間の移動-. ゆらぎあ, 24: 1-6.
- 杉浦真治, 2021. 兵庫県北部におけるコガタノゲン

ゴロウの再発見. ホシザキグリーン財団研究報告,
24: 95-96.

兵庫県版レッドリスト 2022 (昆虫類). https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_289/2022, (最終閲覧: 2025 年 3 月).

(Masahiro IZUMIYAMA 兵庫県養父市)

兵庫県丹波篠山市でカノコマルハキバガを撮影

宇野宏樹

カノコマルハキバガ *Callimodes zelleri* (Christoph, 1882) は国内では本州・四国・九州に分布することが知られているマルハキバガの 1 種である (広渡ほか, 2013). 兵庫県における本種の記録は, 宝塚市 (シニア自然大学校, 2019) と相生市 (高橋, 2023) の計 2 例が知られている (宇野ほか, 2024). 筆者は, 記録がないと思われる丹波篠山市で本種を撮影したので, 報告しておきたい.

1ex. (図・撮影のみ), 兵庫県丹波篠山市草野付近. 5. V. 2025.
筆者撮影.

植物体についていた個体を撮影した. やや見苦しい写真であるが, 撮影した写真を図に示しておきたい.

○引用文献

広渡俊哉・那須義次・坂巻祥孝・岸田泰則 (編), 2013.

日本産蛾類標準図鑑 III, 360pp. 学研教育出版. 東京.

シニア自然大学校, 2019. 武田尾 (宝塚市・西宮市) の昆虫相調査目録 (2019 年 1 月 ~ 12 月). http://www.shizen-daigaku.jp/web_users/musi2020/2019takedao.pdf (2025 年 5 月閲覧).

高橋弘樹, 2023. 相生市「羅漢の里」公園で確認された蛾類の記録 (2) - 相生市三濃山麓の蛾 2020 - 2023 -. きべりはむし, 46 (1): 1-12.

宇野宏樹・池田 大・阪上洗多, 2024. 兵庫県産蛾類分布記録データベース. https://www.konchukan.net/moths/moths_of_hyogo.html (2025 年 5 月閲覧).

(Hiroki UNO 大阪府池田市)



図. 兵庫県丹波篠山市で撮影されたカノコマルハキバガ.